

平成 28 年 9 月 21 日

9 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は天候不順で遅れ気味。入荷の少ない状況が続く一部材種に品薄感。荷動きは全般に引合い強く一部で丸太の不足感が続く。スギは柱材の引合い強く中目材も回復。ヒノキは柱材の引合い強まり、中目材も良材が回復基調。価格は依然入荷量少なく、新材を中心に秋需に向けて堅調な動き。スギは柱材が引続き強保合で中目材も保合から強保合に転じる。ヒノキは柱材が強含みで中目材は保合。

群馬の製材工場は秋需のスタートで少し慌ただしい状況。受注状況は注文材が多く製品市場出しは少ないが全体的には上向き。原木の出材は台風の影響で少ない。国有林のシステム販売材が出始めたが、山林関係事業が全般に遅れており、原木は在庫も少なく逼迫している状況。製品の在庫は全て潤沢だが、ヒノキは原木が少ないため受注に対応できない状況。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、8月に入り乾燥による山火事警戒レベルとなったが、下旬には気温低下と降雨によりカナダ/ワシントン州で警戒レベルは低下した。産地の港頭在庫は潤沢。ウェアハウザー社の9月積み対日米マツ価格は、前月積比一律\$10アップ。産地製材品価格上昇に伴い国内製材工場向け原木価格も上昇。7月の米材丸太の入荷量は219千 m^3 で、1-7月累計では前年同期比20%増。出荷量は241千 m^3 で同累計では10%増。在庫量は273千 m^3 で前月比22千 m^3 減。日本国内の大手米材工場の販売は好調を維持。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)8月の入荷量は27千 m^3 (前月比14%減)、出荷量は27千 m^3 (同4%減)。在庫量は52千 m^3 (同1%減)。7月の米国住宅着工は年率1,211千戸で前月比2.1%増。ランダムレングス紙の8月下旬15種木材価格平均は、\$362で先月末比ほぼ横這い。現地価格は住宅市場の底堅さが伺え先行き強含みと予想。9月もプレカットを中心に各社とも忙しく、パワービルダー系の仕事を中心に全体的に荷動きは好調。キャンフォー等の大手 SPF シッパーが使っている韓進海運の破綻情報があり今後影響が出るものと予想。

3. 南洋材

サバの原木出材は好調で落ち着いた状況。原木価格はインド勢の旺盛な原木購買意欲とサラワクの出材減で依然強含み。サラワクは伐採規制による出材低迷が常態化。サバ同様インドの原木買付けで価格は高値を維持。PNG ソロモンはサラワクの出材減でインド・中国が買い戻り相場は強気。丸太の入荷は増加、出荷は減少、在庫は増加。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は現地の値上げを為替で吸収しているが、国内相場は横這いから緩やかな弱含み状態。

4. 北洋材

シベリア地域は天候不順で搬出が遅れ丸太手当は不十分。原料丸太は依然として中国との購買競争で高値維持、\$ 価では依然強含みで推移。7月の関東の製品在庫は39千 m^3 で前年同月比8%減。丸太価格はエゾマツ・カラマツ\$130、アカマツ\$163でいずれも保合。製材品は上級グレードが現地挽き、国内挽きとも保合。アカマツ原盤は4月以降の価格上昇が一服。荷動きは現地挽き3,0cm×4.0cm上級グレード需要低調。国内完成品は良質グレードが堅調で低級品は低調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、稼働は通常操業、原料調達は丸太が6月以降減少、原盤は8月入荷順調。特殊材の受注多いが一般材は保合。

5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調で、価格はスギが横這い、カラマツは高値継続。ロシア材は成約少なく価格は横這い。米材は山火事関連の伐採規制や活発な国内需要で入荷悪いが価格は横這い。南洋材は依然原木状況が厳しく価格は高値張りつき。7月の国内合板総生産量26.1万 m^3 のうち、針葉樹合板は24.7万 m^3 で高水準をキープ。出荷量も25.0万 m^3 で依然多い状況は変わらず。在庫量は10.7万 m^3 に減少。国産針葉樹合板の9月販売価格は12mmで10円、厚物で30円の値上げを打ち出す。住宅着工が好調な中、合板需要は引続き旺盛で、今のところメーカー打出し価格は確実に通ると予測。

国産針葉樹合板は、各メーカーとも増産体制を維持しているが、盆休み中の点検休止の影響で木建ルートでの不足感は依然強い状況。輸入合板の7月入港量は24.1万 m^3 、過剰状態の中で荷動きは相変わらずおとなしく、当用買いが続いている。先行き国産針葉樹合板は、8月に台風の影響で岩手県のメーカーが15%程度の生産調整しており、需要が好調な中で今後の影響が懸念される。輸入合板は未だに需給のミスマッチが解消されない中で、9月は商社の中間決算期で、コストを更に下回る安値への懸念が伺える状況。品薄品目は針葉樹合板全般、荷余り品目は特になし。

6. 構造用集成材

ラミナは現地各社とも順調な出荷が続き、在庫は少なめのメーカー多い。特に WW は少なく年内はこのまま推移すると予測。国内集成材の受注は依然好調。販売・荷動きとも好調で WW 柱、RW 梁桁とも1ヵ月以上の納期。販売先行きは年内は好調が続くと予想。在庫はかなり少ない。価格は WW 柱にタイト感があり値上がりとなったが、他は品薄感はあるものの横這い。輸入集成材は 9-10 月積のオフアール少なく、依然納期遅れもあり品不足状態。WW 柱の納期遅れで RW 柱への切り替えで対応。

7. 木材チップ

チップ用原木の入荷は FIT との競合で悪く、解体材は熊本で発生量が増大し処分に苦慮。消費は製紙用が NL とも変化なく、燃料用は受入抑制気味。在庫は横這いもしくはやや増加で推移。針葉樹チップ価格は高値横這い。輸入チップは北米の生産が好調で、為替レートの変動に伴い価格・運賃ともに下落。国内のチップ工場は、原材料の集荷状況、地区・地域により稼働率に差が出ている。

8. 市売問屋

国産材の構造材はスギ・ヒノキとも入荷は減少気味だが落ち着いた商況。造作材は増改築用が活発な動き。外材の構造材は米ツガ、米マツの入荷が回復し多少の荷動き感。造作材は引続きスプルース・米ヒバ良材の引合い強い。全般的に市況は低調だが来場者は多少増加している。本格的な需要期を迎え多少荷動きは良くなっているが、買方の手持ち仕事量にバラツキがあり慎重姿勢は変わらず先行きは不透明。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱・小割・板、ヒノキ KD 柱・土台とも保合。外材はロシアアカマツ野縁強保合、米ツガ角・平割とも弱保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルース・ピーラー平割保合。タモ・ナラ平割品薄で強保合。集成材は WW 柱強保合、RW 梁、柱ともに保合。合板は国産針葉樹強保合、輸入品保合。プレカット工場は稼働率高く納入は順調。工務店は大工仕事が少なくリフォーム中心。

9月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↗
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD) 30×40 AB	→
			アカマツ(KD) 15×45AB 18×45AB	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↘
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗